
平成28年度第1四半期 決算説明会資料

平成28年8月1日

日新製鋼株式会社

平成28年度第1四半期決算

概況

- ✓ 熊本地震によるサプライチェーン寸断等の影響もあり、国内鋼材在庫は依然として高水準。海外では中国の鋼材市況が一時的な回復を見せる中、再び生産・輸出とも高いレベルで推移するなど、先行き不透明な状況。
- ✓ 再生産可能な販売価格の維持・改善に努めたものの、鉄鉱石やNiの適用市況下落を受け低迷。売上高は1,194億円（対前年同期▲178億円）。
- ✓ 経常利益は呉定期修繕後の立ち上げ遅れが生じたことや、為替差損や在庫評価損の発生など外的要因もあり、▲13億円（対前年同期▲31億円）。但し、在庫評価除く実力ベース経常利益では17億円（同▲26億円）となり、黒字を確保。
- ✓ ステンレスは全体として振るわない状況の中、採算重視の販売方針を堅持するも、円高を背景に輸入材が増え始めるなど新たなマイナス要因も加わり、経常利益は▲25億円（対前年同期▲5億円）、在庫評価除く実力ベース経常利益▲10億円（同▲5億円）となった。

平成28年度第1四半期決算

		No	H28年度 4-6月 (実績) a	H27年度 4-6月 (実績) b	差異 ① a-b														
売	上	高	1	1,194	1,372	▲ 178													
営	業	利	2	2	10	▲ 8													
経	常	利	益	普通鋼・特殊鋼	3	12	38	▲ 26											
				ステンレス	4	▲ 25	▲ 20	▲ 5											
				計	5	▲ 13	18	▲ 31											
親	会	社	株	主	に	帰	属	す	る	四	半	期	純	利	益	6	▲ 15	12	▲ 27

在	庫	評	価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 15	▲ 10	▲ 5
				ステンレス	8	▲ 15	▲ 15	0
				計	9	▲ 30	▲ 25	▲ 5

<実カベース>

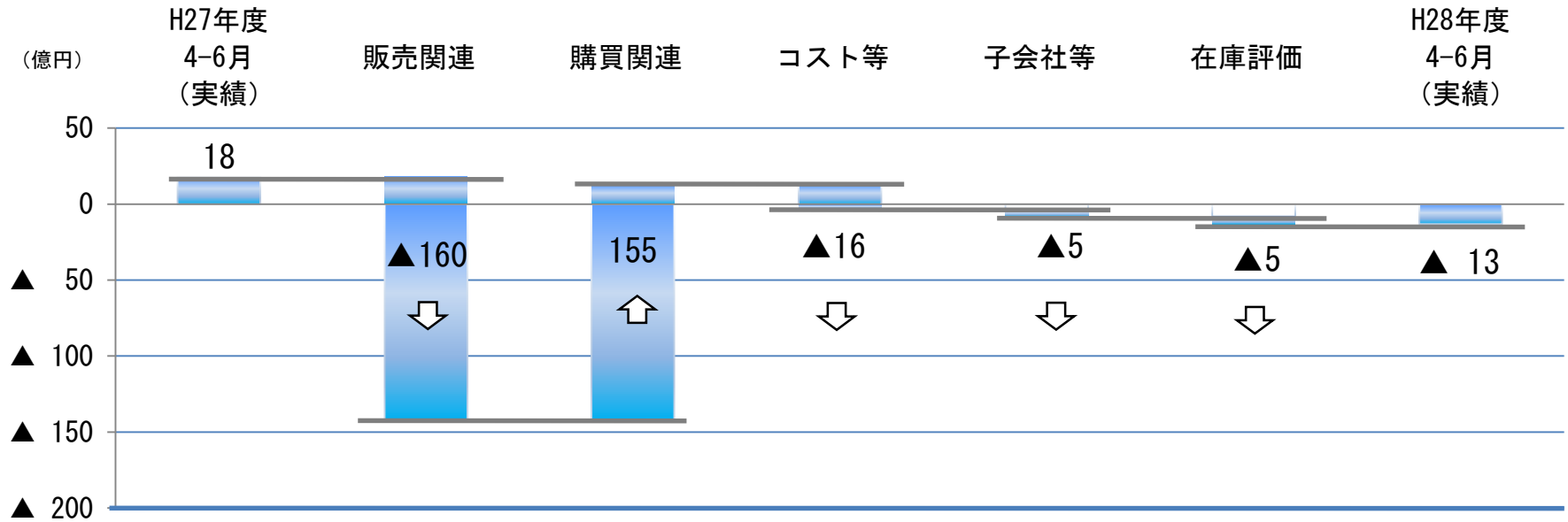
経	常	利	益	普通鋼・特殊鋼	10	27	48	▲ 21
				ステンレス	11	▲ 10	▲ 5	▲ 5
				計	12	17	43	▲ 26

平成28年度第1四半期諸元

		No	H28年度 4-6月 (実績) a	H27年度 4-6月 (実績) b	差異 ① a-b
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	68	79	▲ 11
	ステンレス	2	18	15	▲ 3
	計	3	86	94	▲ 8
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	70	74	▲ 4
	ステンレス	5	12	12	▲ 0
	計	6	82	86	▲ 4
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	109	124	▲ 15
輸出比率 (金額ベース, %)		8	15	17	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)		9	108	121	▲ 13

経常利益差異内訳

H27年度4-6月(実績):H28年度4-6月(実績)



H27年度4-6月 (実績)		18	変動要因	▲ 20
変動要因	販売関連	▲ 160	価格差▲125、数量構成差▲20、輸出為替差▲15	▲ 70
	購買関連	▲ 155	鉄鉱石 35、石炭 15、油類 15、ニッケル原料 45、 輸入為替差 20	80
	コスト等	▲ 16	定期修繕影響等	▲ 5
	子会社等	▲ 5		▲ 10
	在庫評価	▲ 5	▲25→▲30 (内ステンレス ▲15→▲15)	0
計		▲ 31		▲ 5
H28年度4-6月 (実績)		▲ 13		▲ 25

貸借対照表 (H28年6月末)

(億円)

		対H28/3末		主な内訳
現預金	258	▲	55	
売上債権	671	▲	104	売上減少
たな卸資産	1,264		16	
その他流動資産	191	▲	64	
有形・無形固定資産	2,773	▲	14	
投資等	1,617	▲	82	株式含み益の減少
資産合計	6,777	▲	304	

有利子負債	2,720	▲	74	
その他の負債	1,999	▲	107	
負債合計	4,720	▲	181	
資本金・資本剰余金	1,063		-	
利益剰余金	739	▲	42	配当▲27、親会社株主純利益▲15
自己株式	▲ 5	▲	0	
その他の包括利益累計額	194	▲	82	有価証券評価差額金▲26、為替換算調整▲54
非支配株主持分	65		2	
純資産合計	2,057	▲	122	
負債・純資産合計	6,777	▲	304	

平成28年度業績予想

概況

- ✓ 販売数量は366万トン（対前回公表+2万トン）を見込むものの、上期での鉄鉱石やNiの適用市況下落や円高の影響もあり、売上高は5,160億円（同▲50億円）の見通し。
- ✓ 経常利益見通しは115億円（対前回公表▲85億円）。普通鋼・特殊鋼において、呉定期修繕の影響、販売－購買マージンで鉄鉱石等、主原料価格上昇分の販売価格反映一部ずれ込み影響等を織り込み。
- ✓ ステンレスは在庫評価損の拡大（Ni市況 4.5→4.2ドル/lb）を織り込み、経常利益▲35億円（対前回公表▲20億円）、在庫評価除く実力ベース経常利益15億円（同+5億円）。厳しい事業環境が続くが、周南製鋼リフレッシュ効果の最大化などに努め、ステンレス事業の競争力強化を推進していく。

平成28年度業績予想

(億円)

	No	H28年度(今回予想)			H28年度	H27年度	差異			
		上期	下期	c	(前回予想)	(実績)	①	②	③	
		a	b		d	e	c-d	b-a	c-e	
売上高	1	2,520	2,640	5,160	5,210	5,470	▲ 50	120	▲ 310	
営業利益	2	25	145	170	255	100	▲ 85	120	70	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	40	110	150	215	172	▲ 65	70	▲ 22
	ステンレス	4	▲ 60	25	▲ 35	▲ 15	▲ 110	▲ 20	85	75
	計	5	▲ 20	135	115	200	62	▲ 85	155	53
親会社株主に帰属する当期純利益	6	▲ 35	110	75	145	▲ 66	▲ 70	145	141	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 15	▲ 15	▲ 30	▲ 50	▲ 45	20	0	15
	ステンレス	8	▲ 55	5	▲ 50	▲ 25	▲ 90	▲ 25	60	40
	計	9	▲ 70	▲ 10	▲ 80	▲ 75	▲ 135	▲ 5	60	55

<実カベース>

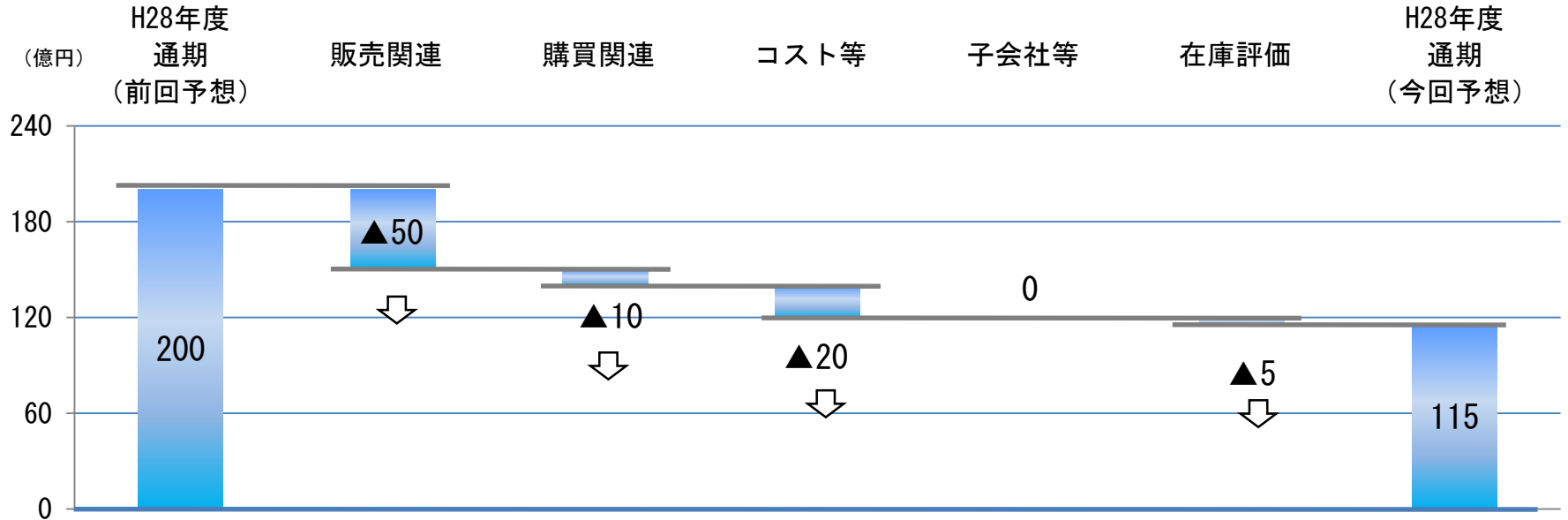
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	55	125	180	265	217	▲ 85	70	▲ 37
	ステンレス	11	▲ 5	20	15	10	▲ 20	5	25	35
	計	12	50	145	195	275	197	▲ 80	95	▲ 2

平成28年度業績予想諸元

		No	H28年度(今回予想)			H28年度 (前回予想) d	H27年度 (実績) e	差異		
			上期 a	下期 b	c			① c-d	② b-a	③ c-e
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	151	163	314	324	314	▲ 10	12	0
	ステンレス	2	36	35	71	68	65	3	▲ 1	6
	計	3	187	198	385	392	379	▲ 7	11	6
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	150	157	307	307	306	0	7	1
	ステンレス	5	28	31	59	57	52	2	3	7
	計	6	178	188	366	364	358	2	10	8
鋼材平均単価 (千円/ト)		7	107	111	109	110	117	▲ 1	4	▲ 8
輸出比率 (金額ベース, %)		8	15	15	15	15	15	0	0	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	106	105	106	110	120	▲ 4	▲ 1	▲ 14

経常利益差異内訳

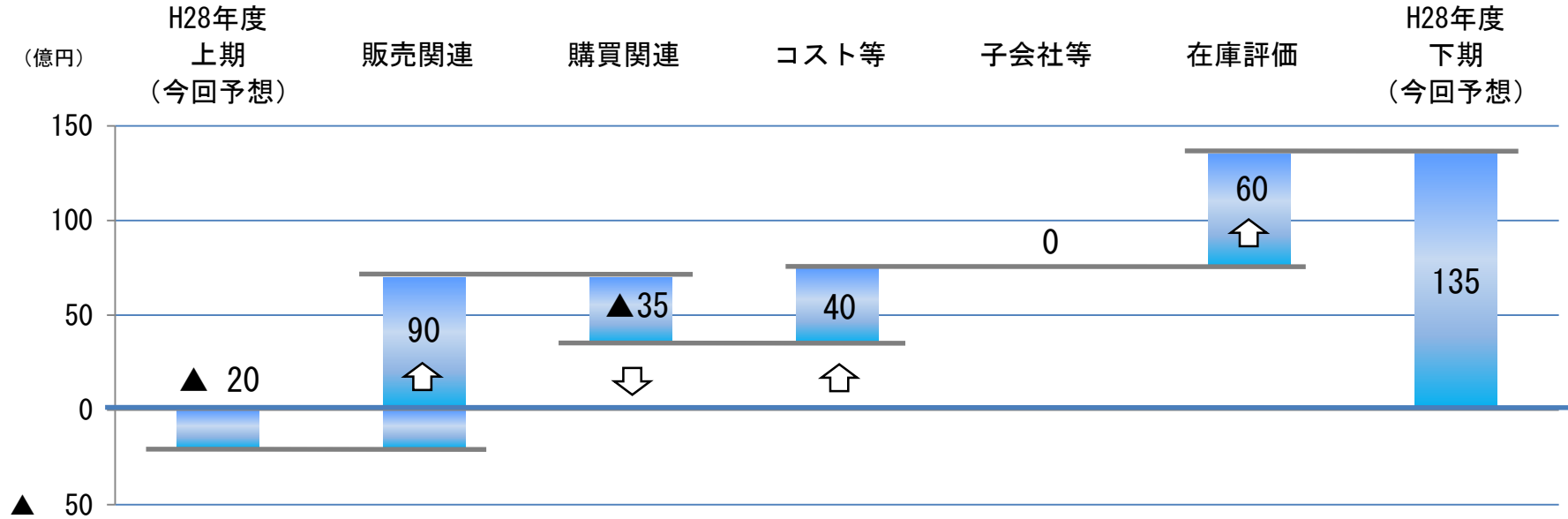
H28年度通期(前回予想):H28年度通期(今回予想)



H28年度通期(前回予想)		200	変動要因	(億円)	(内ステンス)
変動要因	販売関連	▲ 50	価格差▲15、数量構成差▲10、輸出為替差▲25	▲ 20	
	購買関連	▲ 10	鉄鉱石▲30、油類▲20、亜鉛▲15、ニッケル原料 15、 輸入為替差 55		30
	コスト等	▲ 20	定期修繕影響等	▲ 5	
	子会社等	0		0	
	在庫評価	▲ 5	▲75→▲80 (内ステンス▲25→▲50)	▲ 25	
計		▲ 85		▲ 20	
H28年度通期(今回予想)		115			▲ 35

経常利益差異内訳

H28年度上期(今回予想):H28年度下期(今回予想)



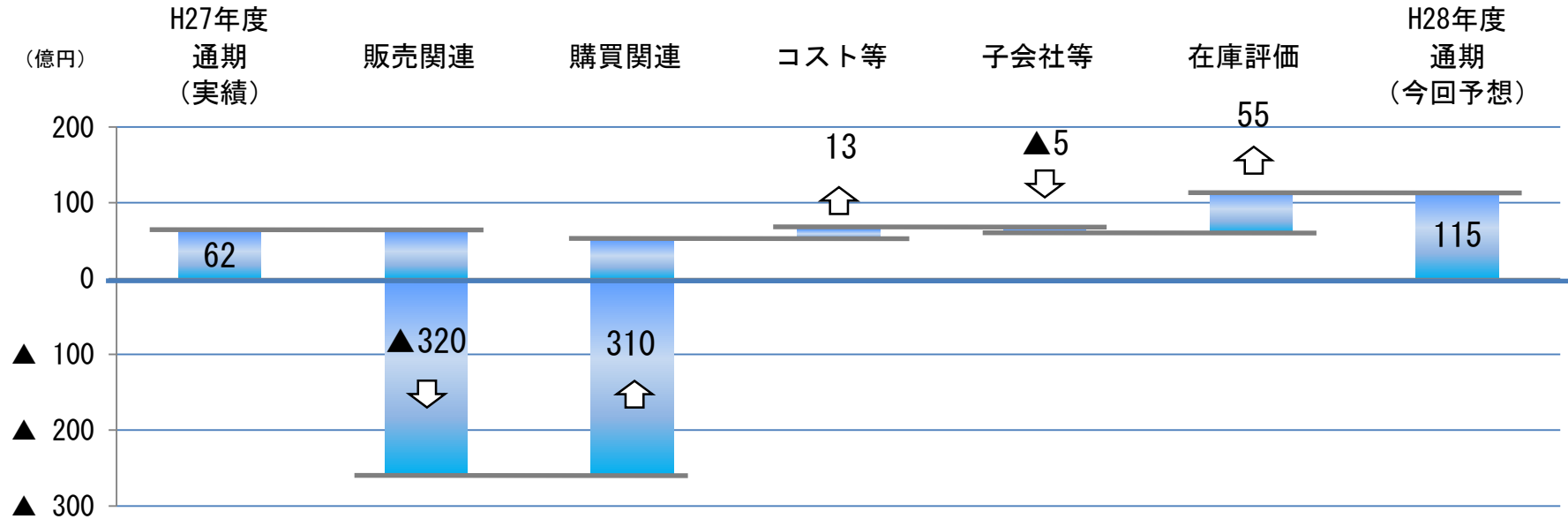
		(億円)	(内ステンレス)
H28年度上期 (今回予想)		▲ 20	▲ 60
変動要因	販売関連	90	30
	購買関連	▲ 35	▲ 15
	コスト等	40	0
	子会社等	0	10
	在庫評価	60	60
計		155	85
H28年度下期 (今回予想)		135	25

変動要因詳細:

- 販売関連: 価格差 50、数量構成差 40
- 購買関連: 鉄鉱石▲20、石炭▲5、油類▲15、ニッケル原料▲15、輸入為替差 30
- 在庫評価: ▲70→▲10 (内ステンレス▲55→5)

経常利益差異内訳

H27年度通期(実績):H28年度通期(今回予想)



H27年度通期(実績)		62	変動要因	▲ 110
変動要因	販売関連	▲ 320	価格差▲275、数量構成差 30、輸出為替差▲75	▲ 135
	購買関連	310	鉄鉱石 35、石炭 10、ニッケル原料 65、丸鋼 30、 輸入為替差 165	165
	コスト等	13		10
	子会社等	▲ 5		▲ 5
	在庫評価	55	▲135→▲80 (内ステンレス ▲90→▲50)	40
計		53		75
H28年度通期(今回予想)		115		▲ 35

剰余金の配当

当期の配当については、現時点で未定。

配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示。

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

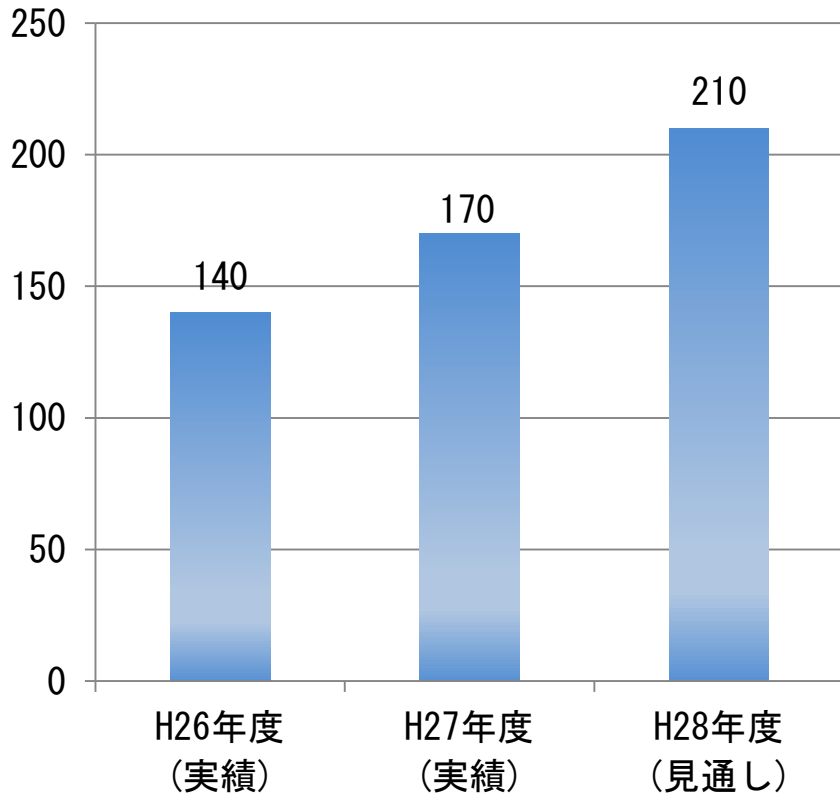
(ご参考)
主要データ



合理化・総コスト削減とシナジー効果

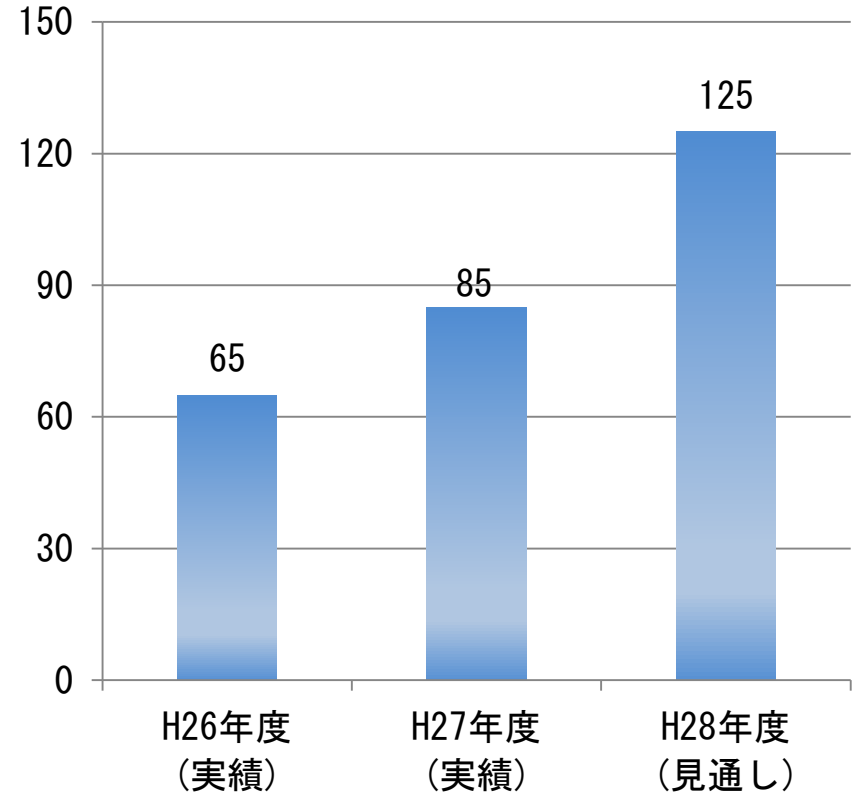
合理化・総コスト削減

(億円)



シナジー効果

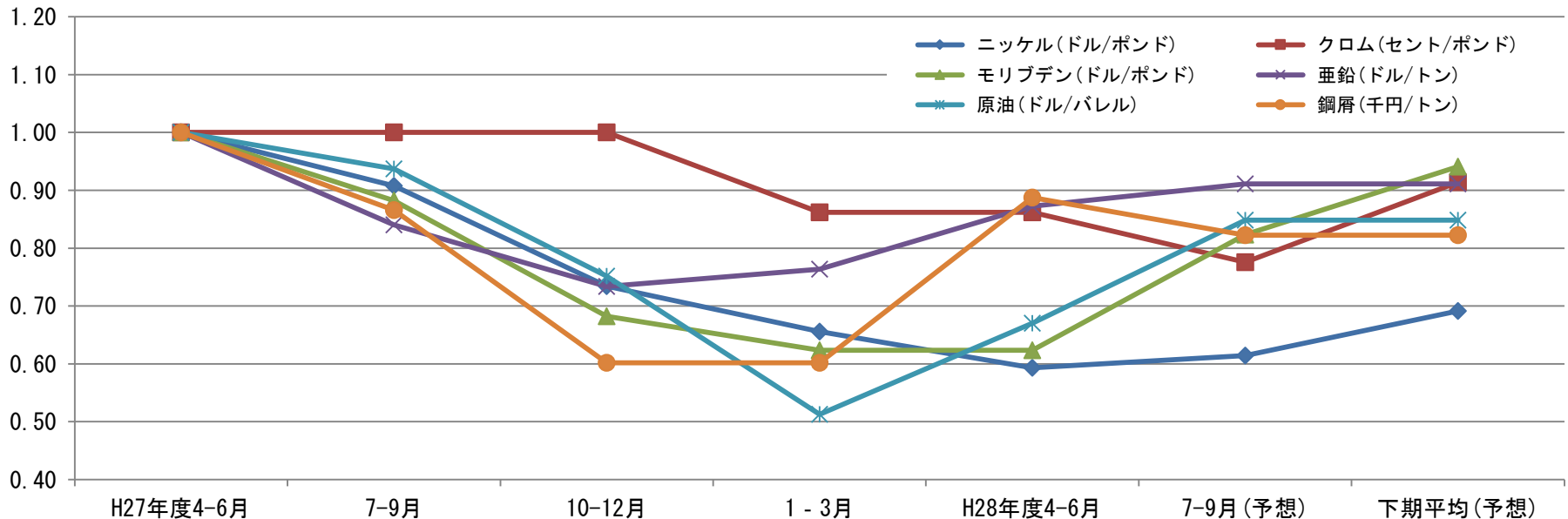
(億円)



購買市況(適用ベース)

	H27年度							H28年度				
	上期			下期			平均	上期			下期	
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月(予想)	平均(予想)	平均(予想)	平均(予想)
ニッケル(ドル/ポンド)	6.51	5.91	6.21	4.78	4.27	4.53	5.37	3.86	4.00	3.93	4.50	4.22
クロム(セント/ポンド)	116.0	116.0	116.0	116.0	100.0	108.0	112.0	100.0	90.0	95.0	106.0	100.5
モリブデン(ドル/ポンド)	8.5	7.5	8.0	5.8	5.3	5.6	6.8	5.3	7.0	6.2	8.0	7.1
亜鉛(ドル/トン)	2,195	1,844	2,020	1,611	1,676	1,644	1,832	1,915	2,000	1,958	2,000	1,979
原油(ドル/バレル)	58.9	55.2	57.1	44.3	30.2	37.3	47.2	39.5	50.0	44.7	50.0	47.4
鋼屑(千円/トン)	23.1	20.0	21.6	13.9	13.9	13.9	17.7	20.5	19.0	19.8	19.0	19.4

購買市況の推移 (H27年度4-6月を1.00)

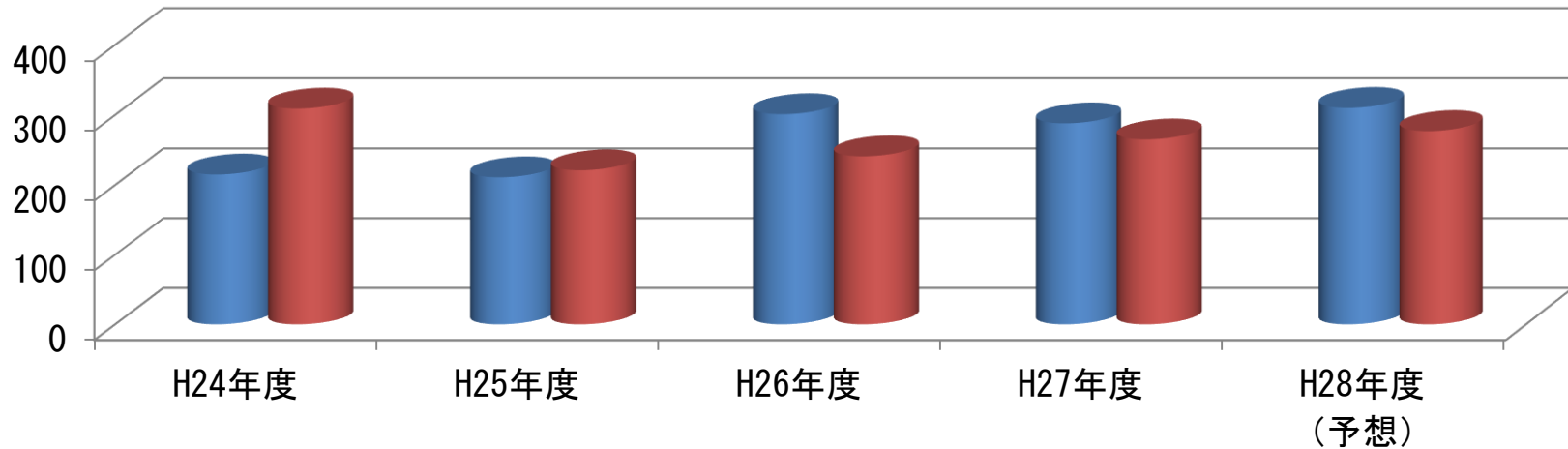


設備投資・減価償却費

(億円)

■ 設備投資（有形のみ／検収ベース）

■ 減価償却費

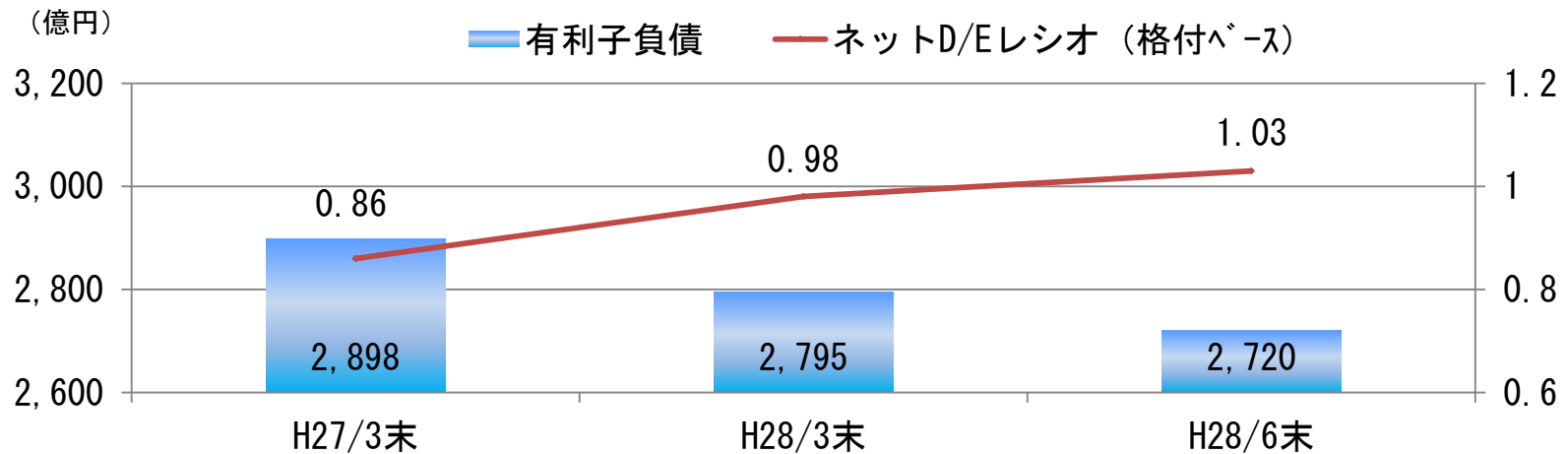


(億円)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (予想)
設備投資	215	211	301	288	310
減価償却費	309	221	241	265	280

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H27/3末	H28/3末	H28/6末
手許預金 (億円)	263	314	258
有利子負債 (億円)	2,898	2,795	2,720
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.24
〃 (格付けベース) ※	0.86	0.98	1.03

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ
 (H27/3末、H28/3末およびH28/6末について、400億円の50%をそれぞれ資本に算入)